

各位

2013年5月10日

KNT-CTホールディングス株式会社
総務部(広報) 担当:立花
TEL:03-6891-6839

旅行取扱状況の概観(平成25年3月分)

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事、KNTアジア、の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱いは、一般団体は前年比90.2%と下回ったが、学生団体は同112.9%と前年を上回った結果、団体旅行合計で同99.2%とほぼ前年と同水準であった。企画旅行については、前年比73.1%と前年を下回った。個人旅行については、前年比91.9%であった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比82.8%と前年を下回る結果となった。

国内旅行の取り扱いは、学生団体が前年比89.8%と下回ったものの、一般団体が同117.5%と大きく上回った結果、団体旅行合計で前年比106.2%と前年を上回った。企画旅行についても前年比102.3%と上回った。個人旅行については、前年比88.6%であった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比100.3%と前年と同水準であった。

外国人旅行は中国・台湾方面からの訪日旅行者は引き続き低迷しているものの、全体では前年比104.5%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の3月の総取扱額は前年比94.6%となった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は昨年複数の大型MICE団体、大型SIT団体を取扱ったこともあり、前年比89.2%であった。学生団体は、同112.9%と前年から大きく伸長した。

国内団体については、一般団体は前年比118.1%と前年を大きく上回ったが、学生団体は昨年スポーツ関連の大型学生団体を取扱った反動もあり89.8%と前年を下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱人数は前年比97.7%であったものの、取扱額では同103.3%と前年を上回った。方面別取扱人数の状況では、東北、関東、伊勢志摩方面などが前年を大きく上回ったほか、関東、首都圏、中国四国方面などが好調である。ホリデイは、販売割合が高いアジア方面が全般的に不調であり、取扱人数、取扱額とも前年を下回った。特に中国方面については引き続き低迷している。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、オセアニア、東アジア、中国方面を中心として販売が鈍化傾向にあり前年を下回った。バス旅行を除く国内旅行部門は全体的に好調を維持しており、前年比113.2%と前年を大幅に上回った。バス旅行部門は東北方面や信州、関東方面に加え、日帰り商品が好調であり、108.9%と前年を上回る結果であった。テーマ旅行部門は、コミュニティ旅行やバリアフリー旅行などが牽引し、前年比109.0%と好調であった。

以上